

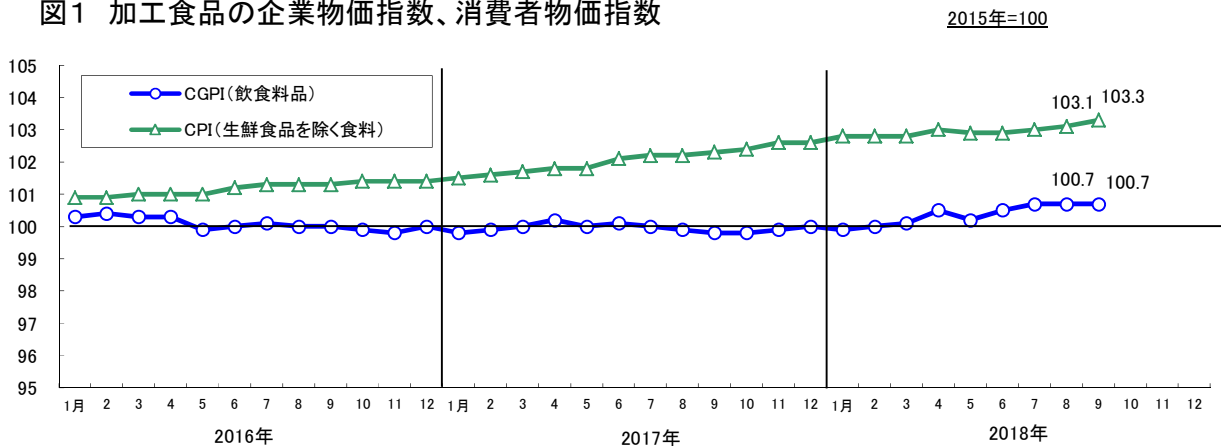
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は横ばいから上昇傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年4月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同103.3で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



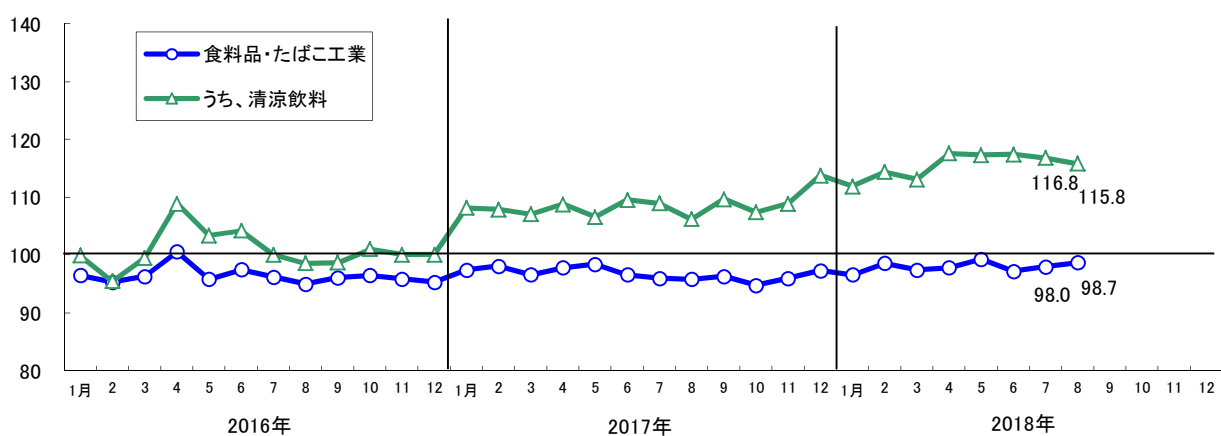
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比で前月並み、清涼飲料については前月並み

2018年8月の食料品・たばこ工業の生産指数は、98.7で前月比0.7%と前月並みとなった。うち、清涼飲料は115.8で前月比▲0.9%と前月並みとなった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

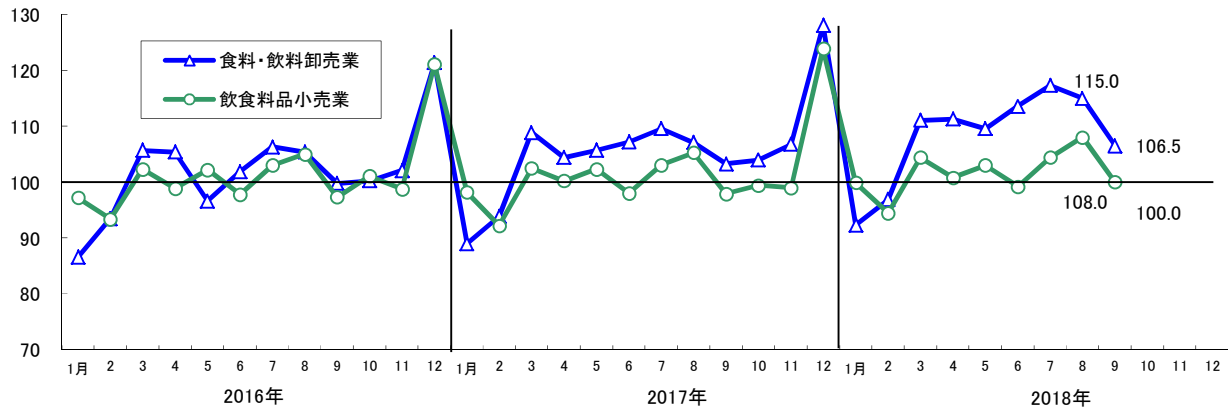
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや上昇、小売業販売額は同わずかに上昇

2018年9月の食料・飲料卸売業の販売額指数は106.5で対前年同月比3.1%とやや上昇した。飲食料品小売業の販売額指数は100.0で同2.1%とわずかに上昇であった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

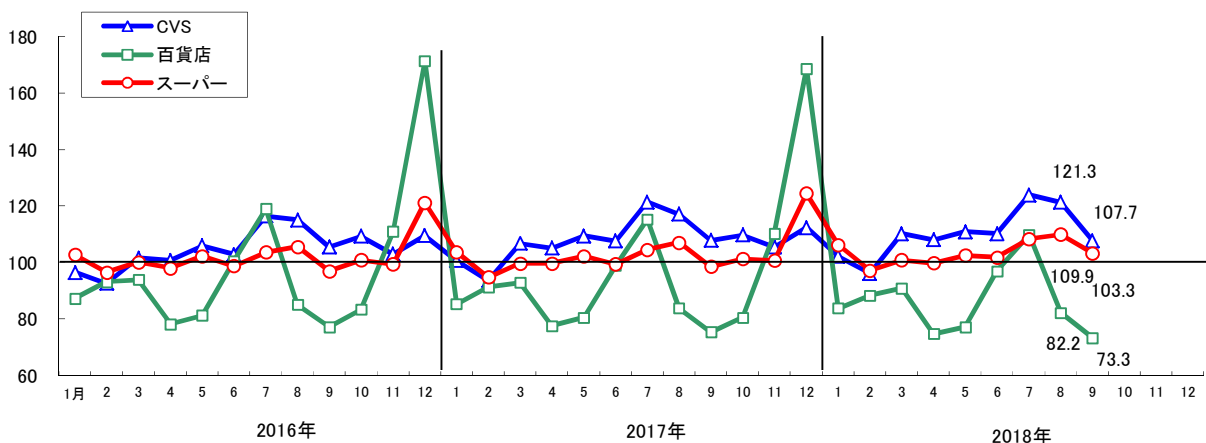
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

スーパーは対前年同月比でやや上昇、CVSは同横ばい、百貨店は同わずかに低下

2018年9月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、スーパーは103.3で前年同月比4.8%と前年同月比でやや上昇、コンビニエンスストアは107.7で対前年同月比▲0.1%と横ばい、百貨店は82.2で前年同月比▲2.7%とわずかに低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。